

専修大学

2019年度 経済学部公開講座



共通テーマ

米中二極時代の世界経済とその行方

開催期間 2019年5月11日(土)～6月15日(土)

開催時間 各土曜日 10:45～12:15 (土曜日2限目)

会場 専修大学 生田キャンパス 10号館1階10103教室

全6回にわたって専修大学の教授陣がテーマ別に講演します。

開催日	講師	テーマ
5月11日(土)	専修大学教授 大橋 英夫	米中経済対立とその行方
5月18日(土)	専修大学教授 野口 旭	米国の保護主義—日米摩擦から米中摩擦へ
5月25日(土)	専修大学教授 矢野 貴之	米中日経済関係の構造変化と東・東南アジアへの影響
6月1日(土)	専修大学教授 稲田 十一	中国の経済的台頭と開発途上国へのインパクト
6月8日(土)	専修大学教授 埜 武郎	トランプ政権の経済政策とその現状
6月15日(土)	専修大学教授 内川 秀二	インド総選挙後の経済を占う

受講には事前申込登録が必要です(1回のみ受講可)。
実施要項・申込方法の詳細は裏面をご覧ください。

受講料は無料

専修大学 2019年度 経済学部公開講座 実施要項

共通テーマ：「米中二極時代の世界経済とその行方」

中国の(名目)GDPは2010年には日本を抜き、2017年には米国の約62%、日本の約2.5倍まで急拡大し、その外貨準備高は世界一の規模となっている(第2位の日本の約2.6倍)。こうした世界経済における中国の急速な台頭の一方で、アメリカのトランプ政権の対外経済政策は急速に保護主義化しており、とりわけ中国に対しては、中国からの主要輸入品目に高関税をかけるなど、米中の経済対立が激化している。こうした米中対立の背景には何があり、今後どのような方向に進むのであろうか。また、中国の経済的台頭や米中日経済関係の構造変化が、開発途上国やアジア地域の経済にどのようなインパクトを与えつつあるのであろうか。また、アジアのもう一つの台頭する新興国であるインド経済の行方はいかなるものであろうか。これらのテーマについて、各分野の専門家がそれぞれの視点から現状を分析し今後の行方を予測する。

全6回にわたって専修大学の教授陣がテーマ別に講演します。

開催期間 2019年 **5月11日(土)～6月15日(土)**

開催時間 **毎週土曜日 10:45～12:15**

会場 **専修大学 生田キャンパス 10号館1階10103教室**

受講料
無料

申込期間 2019年 **4月15日(月)～5月8日(水)**

申込方法 **お申込フォーム(下記QRコード)よりお申し込みください。**

なお、Eメール、ハガキ、FAXでもお申し込みいただけます。その場合には、住所、氏名(漢字・フリガナ)、職業(学生の場合は学校名と学年を明記)、電話番号、FAX番号を明記のうえ、お送りください。

〒214-8580

神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1

専修大学教務課(経済学部担当)「公開講座係」

- FAX : 044-911-1244
- E-mail : ekyomu@acc.senshu-u.ac.jp
- お申込フォームURL : <https://www.senshu-u.ac.jp/cypochi/form/pc/unit1000164.html>
- 窓口時間 : 9:00～12:30、13:30～17:00(土曜日は9:00～12:00)

お申し込みはこちらから



※受講許可の通知等は特にいたしませんのでご了承ください。

※申込期間以降に受講を希望される場合は、お問い合わせください。

※お申し込み時にいただいた個人情報は、専修大学からのお知らせや連絡、または個人が特定できないようにして統計処理等を行う目的で使用します。

交通案内 詳細は専修大学ホームページ

<http://www.senshu-u.ac.jp> → 交通案内 → 生田キャンパス

- 小田急線向ヶ丘遊園駅南口より徒歩約15分
- 向ヶ丘遊園駅(小田急線)北口より小田急バス「専修大学前」行、「あざみ野駅」行、または「聖マリアンナ医科大学」行にて約10分(専修大学120年記念館前下車、徒歩3分)
- あざみ野駅(東急田園都市線・横浜市営地下鉄)より小田急バス「向ヶ丘遊園駅」行にて約35分(専修大学120年記念館前下車、徒歩3分)

お問い合わせ……専修大学 教務課 経済学部 TEL:044-911-1257 Mail: ekyomu@acc.senshu-u.ac.jp